

養殖カンパチの出荷前寄生虫検査

伊根湾及び栗田湾では春先に1kg及び3kgサイズのカンパチを他県から購入し一定期間育てた後、夏季から冬季にかけて市場へ出荷します。

魚には様々な寄生虫がおり、時に喫食した人への健康被害や商品価値の低下を及ぼすことがあります。カンパチでは主に春から夏にかけてブリヒモセンチュウという大型で紐状の寄生虫が筋肉内にしばしば寄生します。この寄生虫は人体には無害ですが、見栄えが悪く商品価値を低下させるため、漁業者にとって悩みの種となっています。

そこで当センターでは、高品質で安心・安全な養殖魚を消費者に提供できるよう養殖魚の出荷前に寄生虫の検査を行っています。

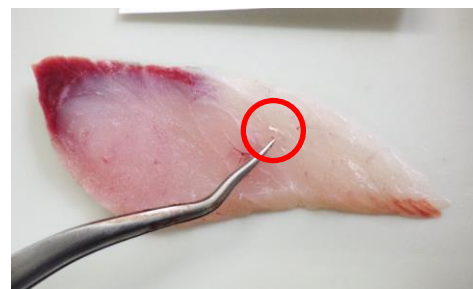
8月に出荷予定のカンパチについて身を薄くスライスし筋肉中の寄生虫の有無を肉眼で検査をしたところ、ブリヒモセンチュウとは異なる寄生虫が少量見つかりました。この寄生虫は人体に害を為すものではなく、少量であれば商品価値の低下に繋がるものではありません。

冬季から出荷を予定している養殖ブリについても順次検査を行い、養殖魚の安心・安全を確保します。



寄生虫検査の検体

カンパチ：尾叉長 55.5cm, 体重 3.0kg



今回の検体で確認された寄生虫

※人体への影響はない